セットアップマニュアル

DuraVision®
DX0131-IP

IP デコーディングボックス

ソフトウェアバージョン 7.3

重要

ご使用前には必ずこのセットアップマニュアルおよび取扱説明書（Webサイトからダウンロード）をよくお読みになり、正しくお使いください。このセットアップマニュアルは大切に保管してください。

- セットアップマニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。
  www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

この製品について

使用について

- ネットワークカメラの映像をHDMI®ケーブルで接続したモニターに出力する機器です。次のような極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途で使用する場合は、安全性を確保する措置を施した上でご使用ください。
  - 運送機器（船舶、航空機、列車、自動車など）
  - 建設機械など産業機械の遠隔操作システム
  - 防災防犯装置など各種安全装置
  - 生命に直接関わる装置（生命維持装置や手術室用機器など医療用装置）
  - 原子力制御機器（原子力制御システム、原子力施設の安全保護系システムなど）
  - 幹線通信機器（輸送システムの運転制御システム、航空管制制御システムなど）
- 製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

  This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.
- 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、当社が指定するACアダプタや信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

設置について

- ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、製品の底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。
- この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたり、温度が低い部屋から高い部屋に移動したりすると、製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
- この製品は、机などの安定した台に、平らな面を底面とした状態で横置きに設置してください。

  専用の取り付け金具（別売オプション）を使用することで、この製品をモニターに取り付けて使用することができます。取り付け金具は当社Webサイトで購入できます。

  www.eizo.co.jp

  取り付け金具を使用した場合の設置方向は、取り付け金具の取扱説明書を参照してください。

サイバーセキュリティに関するお願い

- サイバー攻撃から製品や情報資産を保護するため、以下の対策をおこなってください。
  - 第三者が製品に物理的にアクセスできないように保護する。
  - パスワードが流出しないように管理する。
  - インターネットから独立したネットワーク環境、ファイアウォール内のネットワーク、またはVPN（Virtual Private Network）などを使用し、安全性の確保されたネットワーク上でこの製品を使用する。
- 最新のソフトウェアは当社のWebサイトで公開されます。更新内容をご確認の上、必要に応じてお客様の責任のもと、ソフトウェアの更新をおこなってください。
- この製品は、製品起動時にユーザー名とパスワードの入力を省略して自動的にログインするように設定できます。自動ログインを設定する場合は、不正アクセスを防止する対策を講じた上で管理者の責任においておこなってください。
- この製品は、ユーザー名やパスワードなどの個人情報を暗号化して保持し、デバイス認証に使用します。情報の漏洩を防ぐため、廃棄時にはデータ消去や破壊など、適切な方法で処分してください。
- この製品は、悪意あるアクセスを防ぐためのさまざまなセキュリティ機能を搭載しています。製品のセキュリティを向上させるため、これらの機能を適切に使用してください。
  - USBロック機能
  - リモコンロック機能
  - HTTPS機能
  - Webインターフェース無効化機能
  - IPアドレスフィルター機能
  - IEEE 802.1X機能
  - LDAP機能
- 各機能の詳細は取扱説明書を参照してください。

クリーニング

- この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。
- 製品に付いた汚れは、少量の水や、水で薄めた中性洗剤をしめらせた柔らかい布を使って、やさしく拭き取ってください。

注意点

- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、製品をいためるため絶対に使用しないでください。
- 消毒のためにアルコールなどの薬品を使用すると、ひび割れ、光沢の変化、変色、色あせ、表示画質の劣化などにつながる恐れがあります。ご使用の際は次の点に注意してください。
  - 製品に薬品を直接吹き付けないでください。
  - 薬液含浸済のウエットワイパー類は液量が多いことがありますので使用をお控えください。
  - 製品の隙間や内部に薬品が入らないようにしてください。製品の故障につながる恐れがあります。
- クリーニングおよび消毒の詳細は、当社Webサイトをご確認ください。
  確認方法：www.eizo.co.jpにアクセスし、サイト内検索ボックスに「消毒」と入力して検索

免責について

- 当社は、この製品の使用または故障など（以下に起因するものを含みますがこれに限りません）により生じた直接、間接のいかなる損害（逸失利益の喪失などを含む）についても一切責任を負わないものとします。
  - お客様の誤使用や不注意
  - お客様による分解、修理または改造
  - この製品の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示できないこと
  - 第三者の機器などと組み合わせたこと
  - お客様の監視画像について何らかの理由によりプライバシー侵害などの事由が発生したこと
  - 登録・記録された情報が何らかの原因により消失したこと
- この製品は、カメラで監視している画像を表示できますが、この製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

目次

この製品について **3**
使用について 3
設置について 3
サイバーセキュリティに関するお願い 4
クリーニング 5
免責について 5

1 はじめに **8**
1.1 梱包品の確認 8
1.2 各部の名称と機能 9
1.3 システム構成 11

2 セットアップ **14**
2.1 準備するもの 14
2.2 カメラを設定する 14
2.3 設置する 17
2.4 接続する 17
2.5 初回起動時のユーザー登録をおこなう 18
2.6 ライブ画面を表示する 23
2.7 設定画面を表示する 23
2.8 カメラを自動検出して登録する 25
2.9 リモコンを準備する 27
2.10 リモコン受光ユニットを接続する（リモコン受光部を延長したい場合） 27

3 その他の設定 **28**
3.1 ソフトウェアを更新する 28
3.2 ライセンスを登録する 28
3.3 設定情報の保存と他の製品への読み込み 29
3.4 カメラを手動で登録する 30
3.5 静止画を登録する 38

4 トラブルシューティング **39**
4.1 電源に関する症状 39
4.2 カメラ登録に関する症状 40
4.3 映像に関する症状 41
4.4 その他の症状 44
4.5 Pingでカメラへの接続を確認する 45
4.6 IPアドレスの重複を確認する 46
4.7 コンピュータのIPアドレスを確認する 46

付録 **47**
VCCI 47

アフターサービス **48**

製品に関するお問い合わせ 48
修理に関するお問い合わせ 48
廃棄について 48

保証書 49

1 はじめに

本書は、モニターにカメラ（ネットワークカメラ）の映像を表示するために必要な設定を説明します。

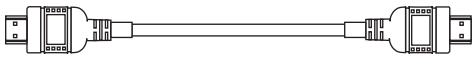
1.1 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

参考

- 取扱説明書は製品に付属していません。次の手順で当社Webサイトからダウンロードしてください。
  1. www.eizo.co.jpにアクセスします。
  2. メニューから「サポート」>「取扱説明書」を選択します。
  3. 「製品名から検索」のテキストボックスに「DX0131-IP」と入力して、「検索」ボタンを押します。
  4. 取扱説明書のアイコンをクリックします。
- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

- DX0131-IP（製品本体）
- HDMIケーブル（HDMI - HDMI、0.5 m）：HH050HS×1本



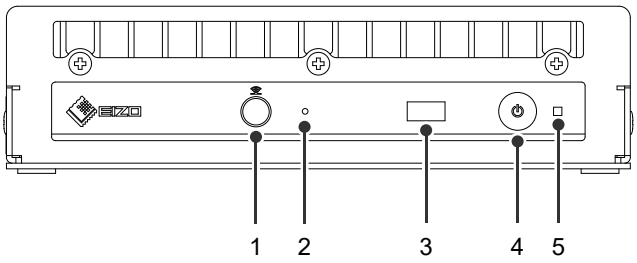
- リモコン
- リモコン用電池：単4形×2本
- リモコン受光ユニット
- リモコン受光ユニットケーブル（2.1 m）×1本



- PCSK-04 / PCSK-03 / PCSK-03R取り付け用ねじ（M3×6）×2本
  小型端末取り付け用アダプタ（PCSK-04 / PCSK-03 / PCSK-03R）を取り付ける場合に、使用します。
- セットアップマニュアル（本書、保証書付き）
- お客様ご相談窓口のご案内
- 使用上の注意

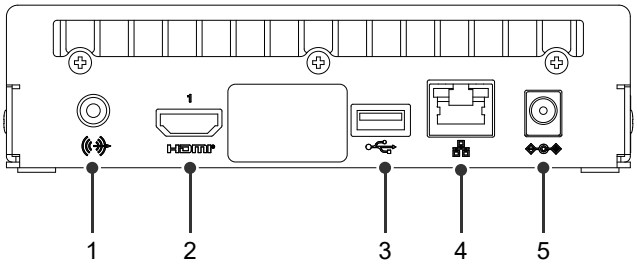
1.2 各部の名称と機能

1.2.1 前面



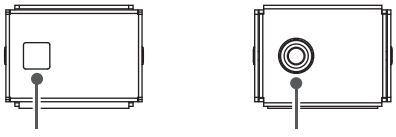
1. リモコン受光ユニット用接続端子	設置する場所により本体のリモコン受光部が使用できない場合に、リモコン受光ケーブルを使って受光ユニットを接続します。 リモコン受光ユニットを使用する場合、本体のリモコン受光部は無効になります。
2. リセットボタン	10秒間押し続けると、システムログ、操作ログ、現在時刻、タイムゾーン設定、ライセンス認証情報、ソフトウェアバージョン以外の設定を初期設定に戻します。
3. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。受光範囲については、「取扱説明書」を参照してください。
4. ⏻ ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
5. 電源ランプ	製品の動作状態を表します。 青：通常動作モード 青点滅：起動中 赤：電源オフ 消灯：主電源オフ

1.2.2 背面



1. ステレオミニジャック	製品本体のビープ音やネットワークカメラの音声を出力する端子です。市販のステレオミニジャックケーブルを接続します。		
2. HDMI 1	HDMI信号出力コネクタです。HDMI®信号対応のモニターに接続します。		
3. USBダウンストリームポート	USBマウス、USBキーボード、またはジョイスティックを接続します。		
4. LANポート	ネットワークケーブルを接続します。PoE+対応のネットワークハブと接続すると、電源を入力します。		
		a） Active LED	消灯：データ通信なし
			橙点滅：データ通信中
		b） Link LED	消灯：ネットワーク接続が未確立
			緑点灯：ネットワーク接続が確立
5. DC入力	ACアダプタ（別売オプション）を接続します。		

1.2.3 リモコン受光ユニット

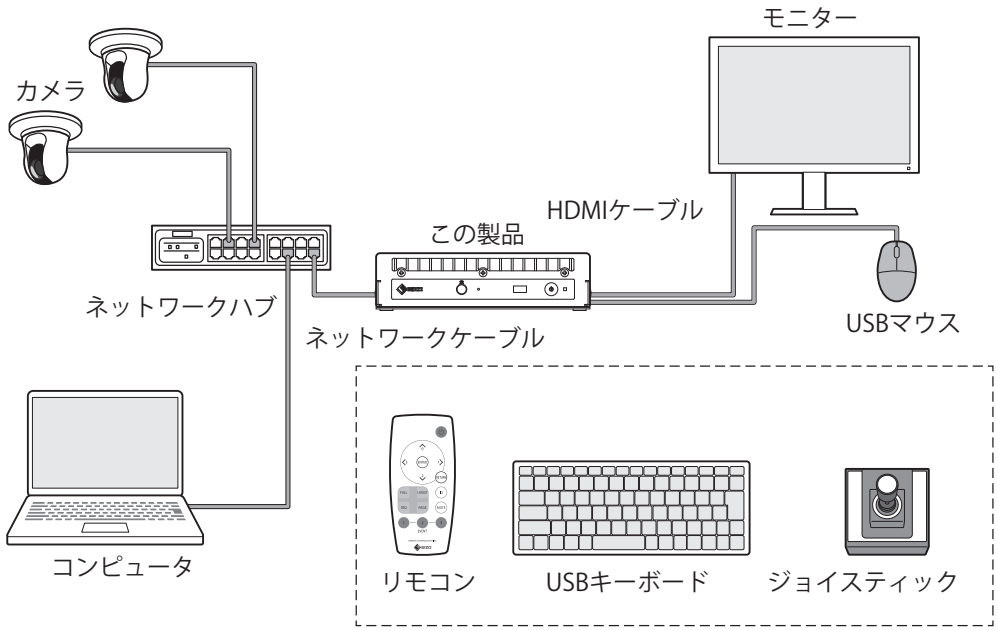


1. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。受光範囲については、「取扱説明書」を参照してください。
2. リモコン受光ケーブル接続端子	リモコン受光ユニットケーブルを接続します。

参考
• リモコン受光ユニットの底面はマグネット仕様です。

1.3 システム構成

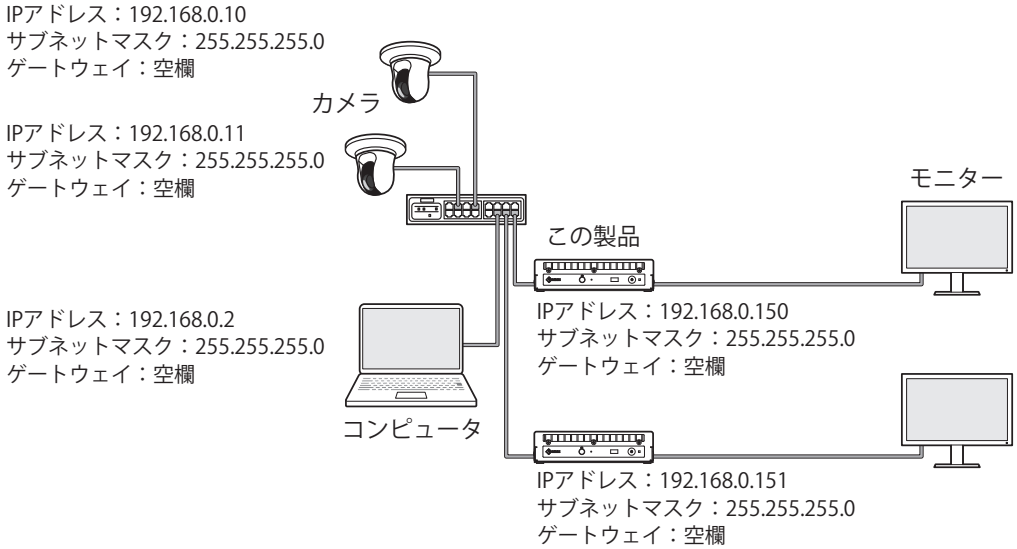
この製品はネットワークに接続して使用します。



参考

IPアドレスについて

- IPアドレスはネットワーク上の住所に相当するため、各機器に重複しないIPアドレスを設定する必要があります（取扱説明書「システムの設定」-「ネットワーク設定をおこなう」参照）。他の機器と重複するIPアドレスを設定した場合、通信が正しくおこなわれません。



- ゲートウェイ（デフォルトゲートウェイ）がない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。
- この製品のIPアドレスの初期値は「192.168.0.150」です。複数台設置する場合は、重複しないIPアドレスを設定してください（4.6 IPアドレスの重複を確認する [P. 46]参照）。

1.3.1 カメラ（ネットワークカメラ）

ONVIF® Profile S準拠のカメラ、アクシス社、またはパナソニック社 / i-PRO社のカメラ

注意点

カメラ互換性について

- この製品は、映像表示のほか、カメラのPTZ操作や設定変更に対応しています。しかし、必要なAPIが提供されていないなどの理由により、すべての機能を利用できるとは限りません。この製品から利用できない、あるいは期待どおりに動作しない機能については、カメラ側で操作してください。
- この製品からカメラのPTZを操作する必要がある場合は、当社が検証したカメラの互換性情報を参考にしてください。
  www.eizo.co.jp/support/db/products/model/DX0131-IP

ONVIFはONVIF Inc. の商標です。

1.3.2 ネットワークハブ

1000BASE-T / 100BASE-TX対応のネットワークハブ

ネットワークハブを選択する際は、次の点をご確認ください。

- この製品はPoE+に対応しています。PoE+対応のネットワークハブに接続することで、ネットワークケーブルを通じてこの製品に電力を供給できます。
- PoE+に対応していないネットワークハブを使用する場合は、ACアダプタ（別売オプション）を使用してこの製品に電力を供給する必要があります。
- ネットワークケーブルを通じてカメラに電力を供給する場合は、PoE対応のネットワークハブをご使用ください。

注意点
• この製品はPoE+の2-Event Classification方式のみ対応しています。ネットワークハブが2-Event Classification方式に対応していない場合は、ACアダプタ（別売オプション）から電源を供給してください。

1.3.3 ネットワークケーブル

カテゴリ5e以上のストレートケーブル

1.3.4 USBマウス

ライブ画面と設定画面を操作するのに使用します。

注意点
• リモコンでは、ライブ画面のみ操作できます。

1.3.5 コンピュータ

この製品とカメラの設定に使用します。設定後はネットワークから外すことができます。

次の設定は、コンピュータを使用している場合のみ使用可能です。

- カメラ名に英数字、記号以外の文字を入力する
- ソフトウェアを更新する
- ライセンスを登録する
- システム情報を保存する / 読み込む
- ログを保存する
- 静止画を登録する

コンピュータにLANポートが搭載されていない場合は、USB LANアダプタの使用を検討してください。

1.3.6 映像表示用モニター

この製品にHDMIケーブルで接続し、カメラ映像を表示します。HDMI信号入力に対応し、かつ、この製品の出力解像度で表示が可能なモニターを使用してください。出力解像度については「取扱説明書」を参照してください。

2 セットアップ

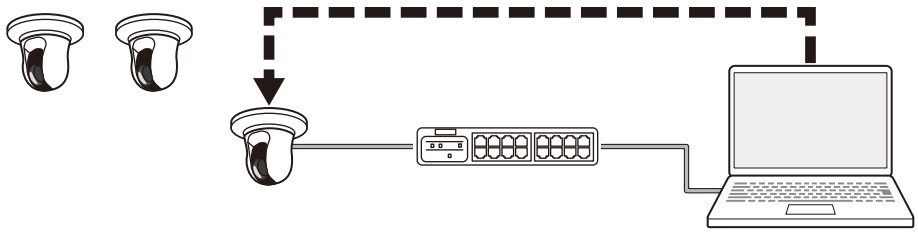
2.1 準備するもの

USBマウスとコンピュータを準備してください。
作業場所からインターネットに接続できない場合は、事前に次のファイルをコンピュータに入れておいてください。

ファイル	入手方法
取扱説明書一式 • セットアップマニュアル（本書） • 取扱説明書	当社Webサイトから必要なファイルをダウンロードしてください。 www.eizo.co.jp/support/db/products/model/DX0131-IP
システムソフトウェアの最新版	
ライセンスファイル	ライセンスを購入すると追加機能を利用できます。機能については「取扱説明書」を参照してください。ライセンスの購入については販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

2.2 カメラを設定する

事前にカメラを設定しておく必要があります。



カメラの取扱説明書を参照し、次の設定をおこなってください。

2.2.1 ユーザーとパスワード

管理者権限を持つユーザーに、英数字と記号を使用して32文字以内のパスワードを設定します。

2.2.2 日付と時刻

タイムゾーンを選択し、正しい日付と時刻を設定します。

2.2.3 IPアドレス

他の機器と重複しないIPアドレスを設定します。

2.2.4 ストリーム

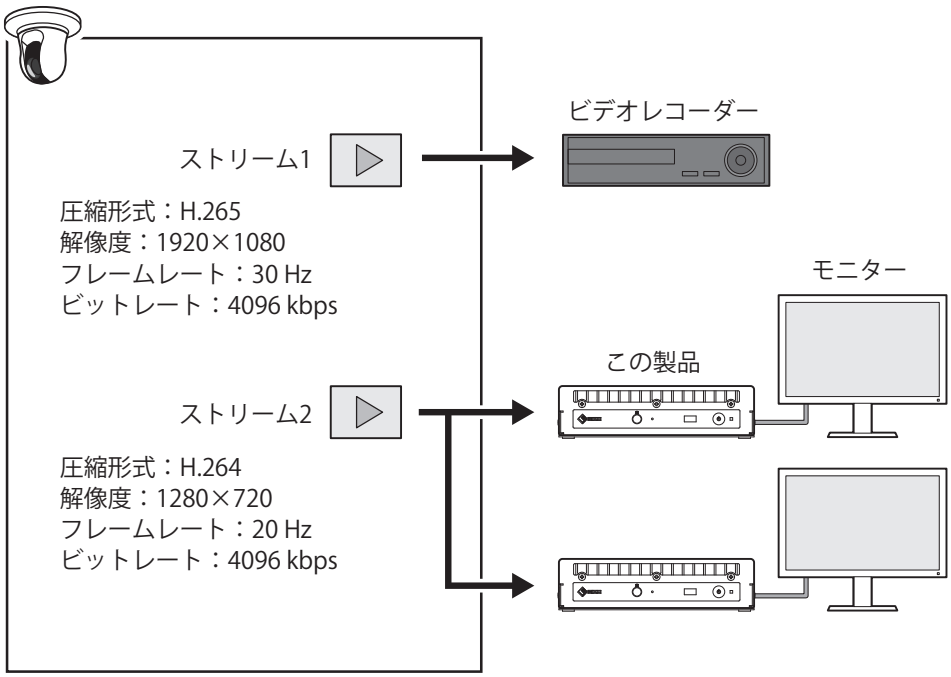
この製品のデコード性能に合わせてストリームを設定します。

- ストリームが有効になっていることを確認してください。
- 「Panasonic/i-PRO」プロトコルを使用する場合、初期値ではストリーム2に接続します。

参考

カメラのストリームについて

一般的にカメラは複数のストリームをサポートし、異なる解像度やフレームレートの映像を同時に送信することができます。



- ストリーム1は録画用、ストリーム2はライブビューイング用のように分けることで、ストリーム設定の変更が他の機器に影響するのを防ぐことができます。
- 「Panasonic/i-PRO」プロトコルでカメラを登録する場合、初期値ではストリーム2に接続します。
- 接続するストリームは、手動登録で変更できます（3.4 カメラを手動で登録する [P. 30]参照）。

動画圧縮形式

カメラ登録で使用する「プロトコル」に応じて動画圧縮形式を選択します。

- 「ONVIF」

  H.264またはMJPEG（「メディアタイプ」が「Media1」の場合）、H.265またはH.264（「メディアタイプ」が「Media2」[※1]の場合）

- 「AXIS®」
  H.265またはH.264
- 「Panasonic/i-PRO」
  H.265またはH.264

※1 カメラがONVIF Profile SとONVIF Profile Tの両方に準拠している必要があります。

参考
• 最新のH.265動作確認状況は、当社Webサイトのカメラ互換性情報を参照してください。

ビットレート

8192 kbps以下の値を設定します。（4096 kbps推奨）

解像度 / フレームレート

ライブ画面に同時表示するカメラ台数に応じて「解像度」と「フレームレート」を設定します。

H.265 / H.264（「ビットレート」設定が「4096 kbps」の場合）

映像表示モニターの解像度が1920×1080、60 Hz

1面レイアウト	3840×2160 / 50 fps、1920×1080 / 60 fps
4面レイアウト	3840×2160 / 15 fps、1920×1080 / 60 fps
9面レイアウト	1920×1080 / 20 fps
16面レイアウト	1920×1080 / 15 fps

映像表示モニターの解像度が3840×2160、30 Hz

1面レイアウト	3840×2160 / 30 fps、1920×1080 / 30 fps
4面レイアウト	3840×2160 / 20 fps、1920×1080 / 30 fps
9面レイアウト	1920×1080 / 20 fps
16面レイアウト	1920×1080 / 10 fps

MJPEG

640×480 / 30 fps

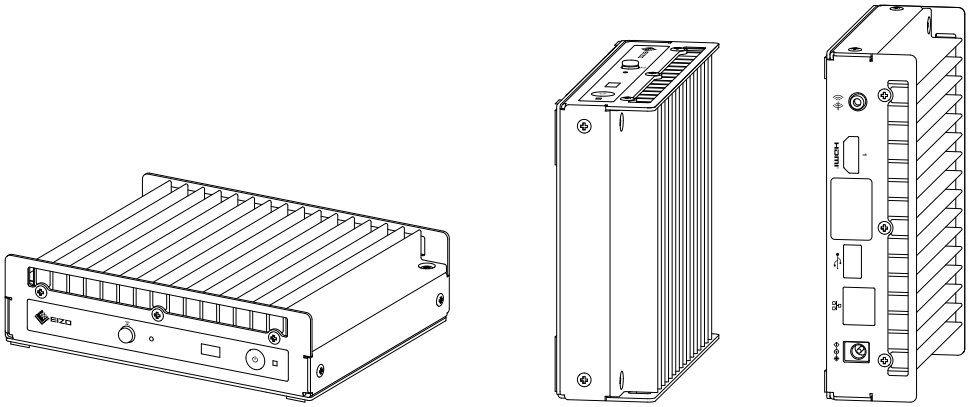
注意点
• 上記は参考値です。 • ストリームがこの製品の表示性能を超える場合、カメラ映像のフレームレートが強制的に下げられます。解像度やビットレートを下げてください。

2.3 設置する

この製品は、机などの安定した台に置いたり、専用の取り付け金具（別売オプション）を使用して設置します。

サイバー攻撃から製品や情報資産を保護するため、お客様の責任のもと、第三者が製品に物理的にアクセスできないよう対策をおこなってください。

設置可能な方向は次のとおりです。

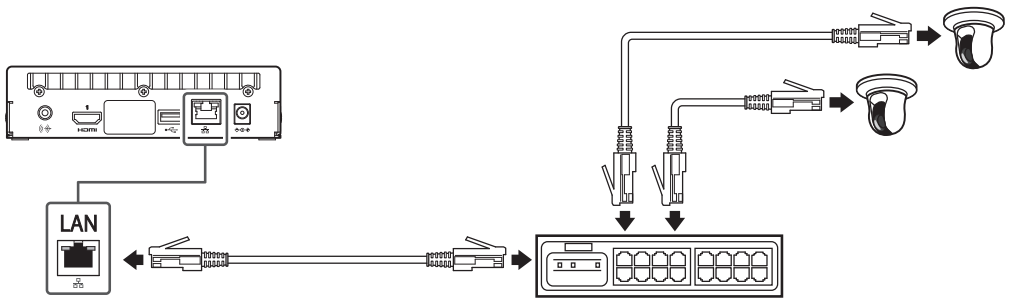


2.4 接続する

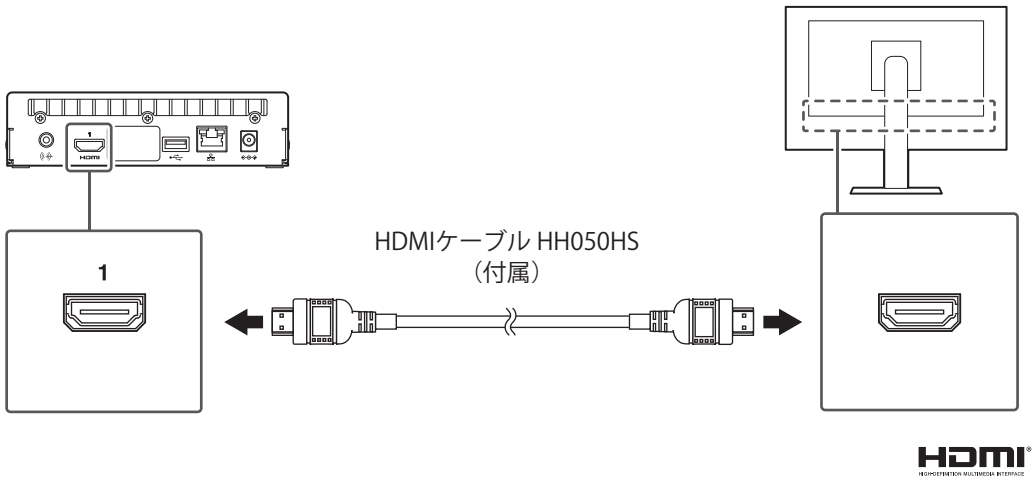
参考

- この製品はPoE+に対応しています。ネットワークハブがPoE+に対応している場合、ネットワークハブからの給電で動作するため、ACアダプタの接続は不要です。
- ネットワークハブがPoE+に対応していない場合は、ACアダプタ（別売オプション）を使用します。次の手順に沿って接続してください。
  1. 電源コードをACアダプタに接続します。
  2. ACアダプタの出力端子をこの製品のDC入力端子に接続します（しっかりと奥まで差し込みます）。
  3. 電源プラグを電源コンセントに接続します。
- PoE+対応のネットワークハブに接続した状態でACアダプタを使用した場合、ACアダプタから電源が供給されます。

1. ネットワークケーブルでこの製品とカメラをネットワークハブに接続します。

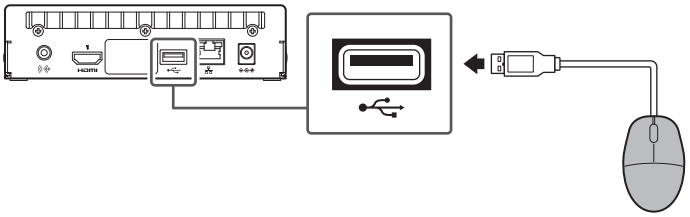


2. HDMIケーブルでこの製品と映像表示用モニターを接続します。



3. USBダウンストリームポートに、USBマウスを接続します。

参考
• USBハブ機能を持つ機器に接続すると複数のUSB機器で操作できます。



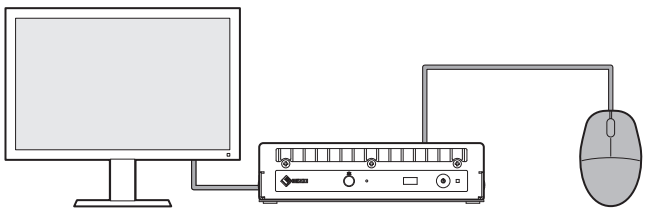
2.5 初回起動時のユーザー登録をおこなう

この製品を初めて起動すると、初期設定ウィザードが表示されます。画面の指示に従って、各項目を設定します。

- モニターコンソールで初回ユーザーを登録する [P. 18]
- Webコンソールで初回ユーザーを登録する [P. 22]

2.5.1 モニターコンソールで初回ユーザーを登録する

操作はUSBマウスでおこないます。リモコンでは操作できません。
文字入力が必要な項目をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。



1. 製品前面の電源ボタン（⏻）を押して、電源を入れます。
   初期設定ウィザードが表示されます。
2. 画面の指示に従って、各項目を設定します。
   - 「言語」（言語 [P. 19]）
   - 「キーボードレイアウト」（キーボードレイアウト [P. 19]）
   - 「タイムゾーン」（タイムゾーン [P. 19]）
   - 「日付表示形式」（日付表示形式 [P. 19]）
   - 「時刻表示形式」（時刻表示形式 [P. 20]）
   - 「設定方法［Webコンソールのみ］」（設定方法［Webコンソールのみ］ [P. 20]）
   - 「日時」（日時 [P. 20]）
   - 「ユーザーレベル」（ユーザーレベル [P. 20]）
   - 「ユーザー名」（ユーザー名 [P. 20]）
   - 「パスワード」（パスワード [P. 20]）
   - 「パスワード（確認）」（パスワード（確認） [P. 20]）
   - 「IPアドレス（設定方法）」（IPアドレス（設定方法） [P. 20]）
   - 「IPアドレス」（IPアドレス [P. 21]）
   - 「サブネットマスク」（サブネットマスク [P. 21]）
   - 「ゲートウェイ」（ゲートウェイ [P. 21]）
   - 「ホスト名」（ホスト名 [P. 21]）
   - 「プロトコル」（プロトコル [P. 21]）
3. 「適用」をクリックします。
4. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

言語
設定値：「日本語」 / 「English」 / 「Deutsch」
言語を選択します。

キーボードレイアウト
設定値：「日本語」 / 「英語(US)」 / 「英語(UK)」 / 「ドイツ語」
キーボードレイアウトを選択します。

タイムゾーン
タイムゾーンを選択します。

日付表示形式
設定値：「yyyy/mm/dd」 / 「Mmm/dd/yyyy」 / 「dd/Mmm/yyyy」 / 「mm/dd/yyyy」 / 「dd/mm/yyyy」 / 「日付表示なし」
日付の表示形式を選択します。

時刻表示形式
設定値：「24時間」 / 「12時間」
時刻の表示形式を選択します。

設定方法［Webコンソールのみ］
設定値：「自動（PCと同期）」 / 「手動」
時刻の設定方法を選択します。

日時
現在の時刻を設定します。

ユーザーレベル
設定値：「LIVE」 / 「CAMERA CONTROL」 / 「ADMIN」
ユーザーレベルを選択します。
初回ユーザー登録時はユーザーレベルは選択できません（「ADMIN」に固定）。

ユーザー名
ユーザー名を入力します。ユーザー名は以下の条件を満たすように設定してください。
- 1文字以上、16文字以下
- 英数記号文字のみ
- 文字 # & : " < > \ を含まない

次のユーザー名は設定できません。
- 「.」、「..」、「auto-login」

パスワード
パスワードを入力します。第三者に推測されにくいパスワードを設定してください。
- 8文字以上、16文字以下
- 1文字以上の英大文字および英小文字
- 1文字以上の数字
- 文字 \ を含まない

パスワード（確認）
確認のために、同じパスワードを再度入力します。

IPアドレス（設定方法）
設定値：「DHCP」 / 「手動」
IPアドレスの設定方法を選択します。

参考
• DHCPサーバーがある環境の場合、「DHCP」を選択するとIPアドレスが自動的に設定されます。Webコンソールでは設定されたIPアドレスを確認できないため、モニターコンソールで確認してください。

IPアドレス

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

他の機器と重複しないIPアドレスを設定します。

参考
• IPアドレスの初期値は「192.168.0.150」です。この製品を複数台設置する場合、重複しないIPアドレスを設定してください。 重複の確認方法については、4.6 IPアドレスの重複を確認する [P. 46]を参照してください。

サブネットマスク

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

サブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイがない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。初期設定のままとするか、空欄としてください。

ホスト名

設定値：英数字、-（ハイフン）（63文字まで）

「IPアドレス（設定方法）」で「DHCP」を選択した場合は、DHCPサーバーに登録するホスト名を入力します。初期設定は「製品名 - MACアドレス」です。DNSへの自動登録はDHCP / DNSサーバー側の設定に依存します。

プロトコル

設定値：「HTTPS」 / 「HTTP & HTTPS」

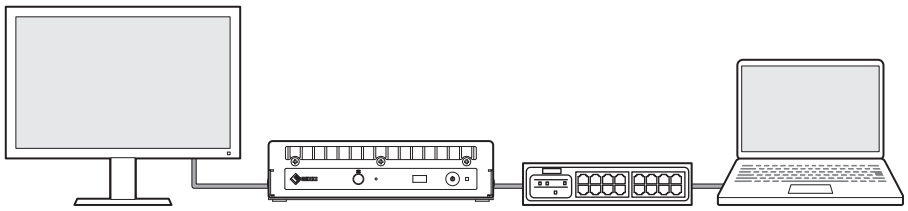
Webサーバーとの通信プロトコルを選択します。

選択するプロトコルによって、Webブラウザからこの製品にアクセスする際のアドレスが異なります。

- 「HTTPS」：https://この製品のIPアドレス/
- 「HTTP & HTTPS」：
  https://この製品のIPアドレス/　または　http://この製品のIPアドレス/

2.5.2 Webコンソールで初回ユーザーを登録する

操作はネットワークに接続したコンピュータからおこないます。



1. 製品前面の電源ボタン（⏻）を押して、電源を入れます。
   起動準備中は、電源ランプが青色に点滅します。起動するまでに約1分かかります。
   起動すると、電源ランプが青色に点灯します。
2. ブラウザを起動します。
   WebブラウザはMicrosoft Edge79以降を推奨します。
3. アドレスを入力してアクセスします。
   - https://この製品のIPアドレス/
   - http://この製品のIPアドレス/

   初期設定の場合は次のとおりです。
   - https://192.168.0.150/
   - http://192.168.0.150/

   初期設定ウィザードが表示されます。

参考

- HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、HTTPSを使用することを推奨します。
- HTTPSでアクセスした場合、ブラウザに警告が表示されることがありますが、これは正常な動作です。警告が表示された場合は、「詳細設定」または「詳細情報」をクリックし、「このサイトにアクセスする（安全ではありません）」を選択してください。ログイン後、「認証機関に署名された証明書」を登録することで、警告は表示されなくなります。
- HTTPでアクセスした場合、注意喚起メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認し、必要な対処をおこなってください。

4. 画面の指示に従って、各項目を設定します。
   詳細はモニターコンソールで初回ユーザーを登録する [P. 18]を参照してください。
5. 「適用」をクリックします。
6. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

2.6 ライブ画面を表示する

1. 製品前面の電源ボタン（⏻）を押して、電源を入れます。
   起動準備中は、電源ランプが青色に点滅します。起動するまでに約1分かかります。
   起動すると、電源ランプが青色に点灯します。
   ライブ画面が表示されます。



参考

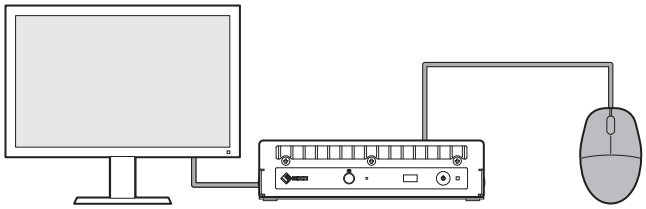
- 電源を切る場合は、製品前面の電源ボタン（⏻）を押します。
- リモコンの電源ボタン（⏻）でも、電源のオン / オフができます。

2.7 設定画面を表示する

設定画面は、モニターコンソール（モニター上に表示される画面）、またはWebコンソール（ブラウザに表示される画面）で操作できます。
設定画面を表示するには、ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーでログインする必要があります。

2.7.1 モニターコンソールを使う場合

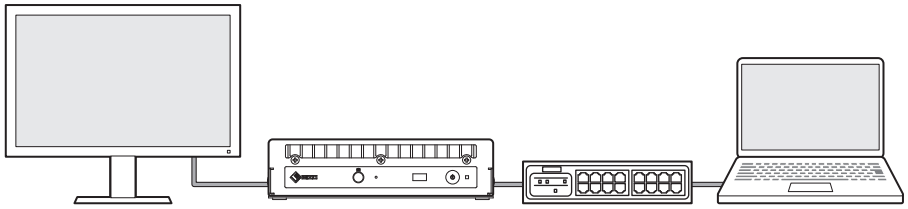
操作はUSBマウスでおこないます。リモコンでは設定画面の操作はできません。
文字入力が必要な項目をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。



1. ライブ画面でログインアイコン（ ）をクリックします。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」をクリックします。
   設定アイコン（ ）が選択できるようになります。
4. 設定アイコン（ ）をクリックします。

2.7.2 Webコンソールを使う場合

操作はネットワークに接続したコンピュータからおこないます。



参考

- コンピュータのネットワーク設定については、4.7 コンピュータのIPアドレスを確認する [P. 46]を参照してください。
- WebブラウザはMicrosoft Edge79以降を推奨します。
- HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、HTTPSを使用することを推奨します。
- 初回起動時には自己証明書を使用するため、https://でアクセスした場合ブラウザに警告が表示されることがありますが、これは正常な動作です。警告が表示された場合は、「詳細設定」または「詳細情報」をクリックし、「このサイトにアクセスする（安全ではありません）」を選択してください。ログイン後、「認証機関に署名された証明書」を登録することで、警告は表示されなくなります。

1. ブラウザを起動します。
2. アドレスを入力してアクセスします。
   アドレス：http://この製品のIPアドレス/またはhttps://この製品のIPアドレス/
   初期設定の場合はhttp://192.168.0.150/またはhttps://192.168.0.150/で表示できます。

Webコンソールを表示できない場合は、4.4 その他の症状 [P. 44]を参照してください。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 「OK」をクリックします。
   設定画面が表示されます。

参考

- ログインできない場合は次のアドレスをお試しください。
  http://この製品のIPアドレス/index.html または https://この製品のIPアドレス/index.html



モニターコンソールの場合、画面左下の「ログアウト」メニューは「戻る」メニューになります。

2.8 カメラを自動検出して登録する

ネットワークに接続されたカメラを自動検出し、登録することができます。

注意点

- 次のカメラやビデオエンコーダは、手動で登録する必要があります（3.4 カメラを手動で登録する [P. 30]参照）。
  - 自動検出できないカメラ
    - 異なるサブネット上のカメラは自動検出できません。
    - カメラによっては自動検出を拒否する設定や、電源を入れてから一定時間だけ自動検出を許可する設定があります。
  - 複数のストリームで映像を配信する魚眼 / パノラマカメラ
  - 複数のカメラを接続しているビデオエンコーダ

1. 「カメラ」>「カメラ登録」を選択します。
2. 「カメラ自動検出」をクリックします。

3. 各項目を設定します。
   - 「プロトコル」（プロトコル [P. 26]）
   - 「ユーザー名」（ユーザー名 [P. 26]）
   - 「パスワード」（パスワード [P. 26]）
4. 「OK」をクリックします。
   検出されたカメラが一覧表示されます。
   カメラを自動検出できるかは、カメラやネットワークに依存します。一覧に表示されないカメラは手動で登録してください。
5. 登録するカメラをチェックし、「追加」をクリックします。
6. 「適用」をクリックします。
7. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
   通信エラーが表示される場合は、4.2 カメラ登録に関する症状 [P. 40]を参照してください。
   映像が正しく表示されない場合は、4.3 映像に関する症状 [P. 41]を参照してください。

プロトコル

カメラを制御するプロトコルを選択します。

- 「ONVIF」※1
  ONVIF Profile S準拠のカメラ
- 「AXIS」
  アクシス社のカメラ（VAPIX®）
- 「Panasonic/i-PRO」
  パナソニック社/i-PRO社のカメラ

※1 「プロトコル」が「ONVIF」の場合、「メディアタイプ」は「Media1」になります。

ユーザー名

カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

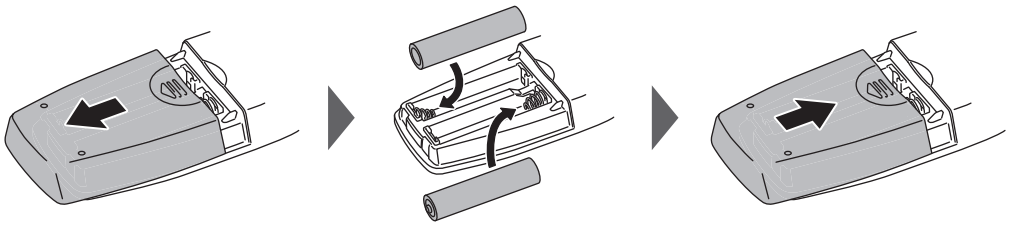
パスワード

カメラのパスワードを入力します。

2.9 リモコンを準備する

電池の着脱方法

1. リモコンの底面を上にし、矢印の方向にスライドさせ、カバーを取り外します。
2. リモコンの「+（プラス）」極と「ー（マイナス）」極の表示に合わせて、電池（単4形×2個）を入れます。
3. カバーを元に戻します。



※電池を外す場合は、手順2で電池を取り出します。

2.10 リモコン受光ユニットを接続する（リモコン受光部を延長したい場合）

1. リモコン受光ユニットのリモコン受光ケーブル接続端子に、リモコン受光ユニットケーブルを接続します。
2. 本体のリモコン受光ユニット用接続端子に、リモコン受光ユニットケーブルを接続します。

3 その他の設定

3.1 ソフトウェアを更新する

この操作は、Webコンソールでおこないます。
ソフトウェアのバージョンアップをおこなうことができます。バージョンアップ用のファイルは事前に当社Webサイト（www.eizo.co.jp）からダウンロードしてください。システムの安定稼働のために、最新のソフトウェアを使用することを推奨します。古いバージョンに戻すことはできません。

1. 「システム」>「メンテナンス」を選択します。
2. 「ソフトウェア更新」>「ファイル」の「参照」をクリックします。
3. ソフトウェアファイル（拡張子：duraup4）を選択します。
4. 「実行」をクリックします。
5. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
   処理が開始されます。
   処理中は、電源ランプが赤色に点滅します。電源を切らないでください。ソフトウェアの更新には10分程度かかります。

3.2 ライセンスを登録する

この操作は、Webコンソールでおこないます。

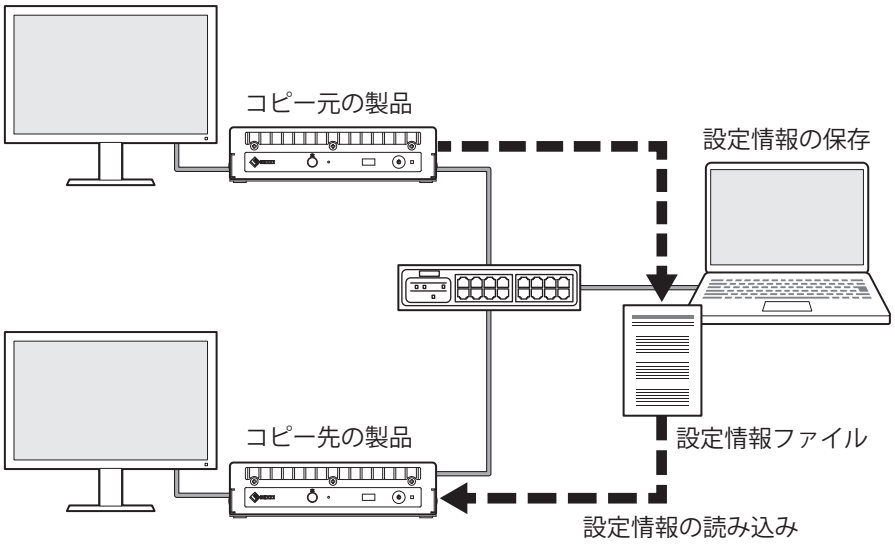
1. 「システム」>「メンテナンス」を選択します。
2. 「ライセンス認証」>「拡張機能」の「認証」をクリックします。
3. 「参照」をクリックし、ライセンスファイル（拡張子：duralic）を選択します。
4. 「OK」をクリックします。
   処理が開始されます。
   ブラウザを閉じ、2分後に再度アクセスしてください。

注意点
• 「解除」を選択すると、追加登録しているすべてのライセンスが解除されます。

3.3 設定情報の保存と他の製品への読み込み

この操作は、Webコンソールでおこないます。

セットアップが完了した製品の設定情報を保存し、ネットワーク上の他の製品に読み込むことができます。1台ずつセットアップする手間を省くことができます。



注意点

- 事前に各製品に重複しないIPアドレスを設定しておいてください。IPアドレスが重複している場合、Webコンソールを表示することができません。

1. コピー元の製品のWebコンソールを表示します。
   アドレス：http://｛コピー元の製品のIPアドレス｝/ または https://｛コピー元の製品のIPアドレス｝/
2. 「システム」>「メンテナンス」を選択します。
3. 「設定情報の移行」>「設定情報」の「保存」をクリックします。
4. 「設定情報の移行」ダイアログボックスで「パスワード」を入力し、ファイルにパスワードを設定します。
5. 「OK」をクリックします。
6. ファイルの保存場所を指定します。
   設定情報ファイルが保存されます。
7. コピー先の製品のWebコンソールを表示します。
   アドレス：http://｛コピー先の製品のIPアドレス｝/ または https://｛コピー先の製品のIPアドレス｝/
8. 「システム」>「メンテナンス」を選択します。
9. 「設定情報の移行」>「設定情報」の「読み込み」をクリックします。

10. 設定情報ファイルを選択し、設定したパスワードを入力します。
    「ネットワーク設定を含める」はチェックしないでください。
11. 「OK」をクリックします。
12. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
    処理が開始されます。
    ブラウザを閉じ、2分後に再度アクセスしてください。

3.4 カメラを手動で登録する

次のカメラやビデオエンコーダは、手動で登録する必要があります。

- 自動検出できないカメラ
- 異なる映像を複数のストリームで配信する魚眼 / パノラマカメラ
  - 同じIPアドレスで魚眼 / パノラマカメラを複数台登録し、表示するストリームを指定します。
- 複数のカメラを接続しているビデオエンコーダ
  - 同じIPアドレスでビデオエンコーダを複数台登録し、表示するストリームを指定します。パナソニック社 / i-PRO社の複数チャンネル対応ビデオエンコーダの場合、「チャンネル」で表示するカメラを指定します。

注意点
• カメラを手動で登録する場合も、ネットワークにカメラが接続されている必要があります。

1. 「カメラ」>「カメラ登録」を選択します。
2. 登録する位置番号の編集（）をクリックします。
3. 各項目を設定します。
   プロトコルによって表示項目が変わります。はじめに「プロトコル」（プロトコル [P. 31]参照）を選択してください。
   - 共通項目（共通項目 [P. 31]）
   - 「ONVIF」（ONVIF [P. 31]）
   - 「AXIS」（AXIS [P. 33]）
   - 「Panasonic/i-PRO」（Panasonic/i-PRO [P. 34]）
   - 「EIZO Streaming Gateway」（EIZO Streaming Gateway [P. 35]）
   - 「DirectUri」（DirectUri [P. 36]）
   - 「静止画ファイル」（静止画ファイル [P. 37]）
   - 「Qognify」（Qognify [P. 37]）
4. 「OK」をクリックします。
5. 「適用」をクリックします。
   ライブ画面にカメラ映像が表示されます。
   通信エラーが表示されている場合は、4.2 カメラ登録に関する症状 [P. 40]を参照してください。
   映像が正しく表示されない場合は、4.3 映像に関する症状 [P. 41]を参照してください。

3.4.1 共通項目

プロトコル

設定値：「ONVIF」 / 「AXIS」 / 「Panasonic/i-PRO」 / 「EIZO Streaming Gateway」 / 「DirectUri」 / 「静止画ファイル」 / 「Qognify」[※1]

※1 この製品に対象の機能拡張ライセンスが登録されている場合に選択できます。

カメラを制御するプロトコルを選択します。

- 「ONVIF」
  ONVIF Profile S準拠のカメラ
- 「AXIS」
  アクシス社のカメラ（VAPIX）
- 「Panasonic/i-PRO」
  パナソニック社 / i-PRO社のカメラ
- 「EIZO Streaming Gateway」
  ストリーミングゲートウェイ機能が有効な製品に接続する場合に選択します。
- 「DirectUri」
  RTSPストリームURI（rtsp://から始まるURI）、またはRTPストリームURI（rtp://から始まるURI）に接続する場合に選択します。
- 「静止画ファイル」
  アップロードした静止画を指定する場合に選択します。
- 「Qognify」
  Qognify VMSと連携する場合に選択します。

カメラ名

設定値：任意の文字（100文字まで）

カメラ名を入力します。英数字、記号以外の文字を入力する場合は、Webコンソールを使用してください。カメラ名に改行を入れる場合は、改行したい位置に \n を入力してください。

「IPアドレス」、「ポート」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力して「カメラ名取得」をクリックすると、カメラ側からカメラ名を取得できます。

3.4.2 ONVIF

IPアドレス

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

カメラのIPアドレスを入力します。

「Ping」をクリックすると、カメラに対して接続テストをおこないます。

ポート

設定値：「1」～「65535」

カメラのポート番号を入力します。

一般的なポート番号は、「80」（SSLが有効な場合は「443」）です。

SSL
セキュア通信をおこないます。
カメラにサーバー証明書が設定されている必要があります。
HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、SSL（HTTPS）を使用することを推奨します。

証明書の検証
SSL通信時の証明書の検証をおこないます。
カメラのルート証明書が、「証明書」>「ルート証明書」に登録されている必要があります。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのパスワードを入力します。

メディアタイプ
設定値：「Media1」/「Media2」
メディアタイプを選択します。
- 「Media1」（初期設定）
  H.264、MJPEGのストリームに接続する場合に選択します。
- 「Media2」
  H.265、H.264のストリームに接続する場合に選択します。カメラがONVIF Profile SとONVIF Profile Tの両方に準拠している必要があります。

メディアプロファイル
設定値：カメラにより異なる
メディアプロファイルを選択することで、接続するストリームを指定します。「プロファイル取得」をクリックすると、カメラ側からプロファイルの一覧を取得します。

配信方式
設定値：「ユニキャスト」/「マルチキャスト」
配信方式を選択します。

接続方式
設定値：「RTP over UDP」/「RTP over RTSP」
カメラ映像の接続方式を選択します。

3.4.3 AXIS

IPアドレス
設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」
カメラのIPアドレスを入力します。
「Ping」をクリックすると、カメラに対して接続テストをおこないます。

ポート
設定値：「1」～「65535」
カメラのポート番号を入力します。
一般的なポート番号は、「80」（SSLが有効な場合は「443」）です。

SSL
セキュア通信をおこないます。
カメラにサーバー証明書が設定されている必要があります。
HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、SSL（HTTPS）を使用することを推奨します。

証明書の検証
SSL通信時の証明書の検証をおこないます。
カメラのルート証明書が、「証明書」>「ルート証明書」に登録されている必要があります。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのパスワードを入力します。

ビデオストリーム
設定値：カメラにより異なる
ストリームのビューエリアを選択します。「ストリーム取得」をクリックすると、カメラ側からビューエリアの一覧を取得できます。
ビューエリアは、全体画像の一部をストリーム配信する場合に使用します。詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。

ストリームプロファイル
設定値：カメラにより異なる
ストリームプロファイルを選択することで、接続するストリームを指定します。「プロファイル取得」をクリックすると、カメラ側からプロファイルの一覧を取得できます。

カメラ側にプロファイルが登録されていない場合、この製品はカメラに「EIZO_Profile」プロファイルを自動的に登録します。

配信方式
設定値：「ユニキャスト」/「マルチキャスト」
配信方式を選択します。

接続方式
設定値：「RTP over UDP」/「RTP over RTSP」
カメラ映像の接続方式を選択します。

3.4.4 Panasonic/i-PRO

この製品からユニキャスト / マルチキャストを設定することはできません。カメラ側で配信方式を変更してください。

IPアドレス
設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」
カメラのIPアドレスを入力します。
「Ping」をクリックすると、カメラに対して接続テストをおこないます。

ポート
設定値：「1」～「65535」
カメラのポート番号を入力します。
一般的なポート番号は、「80」（SSLが有効な場合は「443」）です。

SSL
セキュア通信をおこないます。
カメラにサーバー証明書が設定されている必要があります。
HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、SSL（HTTPS）を使用することを推奨します。

証明書の検証
SSL通信時の証明書の検証をおこないます。
カメラのルート証明書が、「証明書」>「ルート証明書」に登録されている必要があります。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのパスワードを入力します。

ストリーム
設定値：「1」/「2」/「3」/「4」
接続するストリームを選択します。

チャンネル
設定値：「1」/「2」/「3」/「4」
ストリームのチャンネルを選択します。

接続方式
設定値：「RTP over UDP」/「RTP over RTSP」
カメラ映像の接続方式を選択します。

3.4.5 EIZO Streaming Gateway

IPアドレス
設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」
ストリーミングゲートウェイボックスのIPアドレスを入力します。
「Ping」をクリックすると、接続テストをおこないます。

ポート
設定値：「1」～「65535」
ストリーミングゲートウェイボックスのポート番号を入力します。
「プロトコル」が「EIZO Streaming Gateway」の場合は、Streaming GatewayのWebサーバーのアクセスポートを入力します（初期値：「80」、SSLが有効な場合は「443」）。

SSL
セキュア通信をおこないます。
ストリーミングゲートウェイボックスにサーバー証明書が設定されている必要があります。
HTTPによる通信は暗号化されていないため、第三者にデータが盗聴される危険性があります。セキュアな通信を確保するために、SSL（HTTPS）を使用することを推奨します。

証明書の検証
SSL通信時の証明書の検証をおこないます。
ストリーミングゲートウェイボックスのルート証明書が、「証明書」>「ルート証明書」に登録されている必要があります。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
ストリーミングゲートウェイボックスのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード

設定値：英数字、記号（32文字まで）

ストリーミングゲートウェイボックスのパスワードを入力します。

ストリームリスト

接続するストリームを指定します。「ストリームリスト取得」ボタンをクリックすると、配信機器からストリームの一覧を取得します。

配信元の「ストリーミングゲートウェイ」>「配信設定」>「プロトコル」が「RTP」または「SRT」に設定されている場合、そのストリームは選択できません。

RTSP ユーザー名

設定値：英数字、記号（79文字まで）

RTSPのユーザー名が自動的に設定されます。変更することもできます。

RTSP パスワード

設定値：英数字、記号（79文字まで）

RTSPのパスワードが自動的に設定されます。変更することもできます。

RTSP 接続方式

設定値：「RTP over RTSP」

カメラ映像の接続方式を選択します。

3.4.6 DirectUri

参考

- RTPでMPEG2-TSストリームを受信する場合、「接続方式」に「RTP over UDP」または「RTP over RTSP」を選択してください。
- UDPでMPEG2-TSストリームを受信する場合、次の点を確認してください。
  - 「ポート」にストリームを受信するポート番号（1024～65535）を指定し、「接続方式」に「MPEG2-TS over UDP」を選択してください。
  - 事前に配信機器からこの製品に対してストリーム配信設定をしておいてください。
  - マルチキャスト通信でない場合、IPアドレスは空欄にしてください。

IPアドレス

設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」

カメラのIPアドレスを入力します。

「Ping」をクリックすると、カメラに対して接続テストをおこないます。

ポート

設定値：「1」～「65535」

カメラのポート番号を入力します。

一般的なポート番号は、「プロトコル」が「DirectUri」かつ「URI」がRTSPストリームURIの場合は「554」です。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのパスワードを入力します。

URI
設定値：英数字（1023文字まで）
RTSPストリームURI（rtsp://、http://またはhttps://から始まるURI）、またはRTPストリームURI（rtp://から始まるURI）を入力します。

配信方式
設定値：「ユニキャスト」/「マルチキャスト」/「Source-Specific Multicast」
配信方式を選択します。

接続方式
設定値：「RTP over UDP」/「RTP over RTSP」/「MPEG2-TS over UDP」/「RTSP over HTTP」/「RTSP over HTTPS」
カメラ映像の接続方式を選択します。

3.4.7 静止画ファイル

コンテンツ番号
設定値：「1」～「4」
「静止画登録」機能（3.5 静止画を登録する [P. 38]）でアップロードした画像を選択します。選択した画像のプレビューが表示されます。

3.4.8 Qognify

IPアドレス
設定値：「0.0.0.1」～「255.255.255.254」
カメラのIPアドレスを入力します。
「Ping」をクリックすると、カメラに対して接続テストをおこないます。

ポート
設定値：「1」～「65535」
カメラのポート番号を入力します。

「プロトコル」が「Qognify」の場合は、Qognify VMSのサーバーアクセスポートを入力します（初期値：62000）。

ユーザー名
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのユーザー名を入力します。管理者権限を持つユーザーが必要です。

パスワード
設定値：英数字、記号（32文字まで）
カメラのパスワードを入力します。

カメラリスト
「カメラ名取得」をクリックすると、カメラ名の一覧を取得します。

接続方式
設定値：「RTP over RTSP」
カメラ映像の接続方式を選択します。

3.5 静止画を登録する

［**Webコンソールのみ**］
画像をこの製品にアップロードします。カメラ登録時にアップロードした画像を指定すると、カメラ表示エリアに画像を表示できます（3.4 カメラを手動で登録する [P. 30]参照）。

1. 「カメラ」>「静止画登録」を選択します。
2. 「アップロード」をクリックします。
3. 登録する画像を選択し、「開く」をクリックします。

4 トラブルシューティング

4.1 電源に関する症状

4.1.1 ライブ画面が表示されない

- 電源ランプが点灯していない
  - 電源に正しく接続されていますか。ACアダプタまたはPoE+対応のネットワークハブに接続してください。
  - ACアダプタやネットワークハブの電源コードが正しく接続されていますか。
- 電源ランプが赤色に点灯している
  - 製品前面の電源ボタン（⏻）を押してください。
- 電源ランプが赤色に点滅している
  - PoE対応のネットワークハブに接続されており、電力が不足しています。PoE+対応のネットワークハブに接続するか、ACアダプタ（別売オプション）に接続してください。
- 電源ランプが青色に点灯している
  - HDMIケーブルを接続し直してみてください。
  - モニターの入力信号がHDMIになっていますか。モニターの設定が正しいことを確認してください。詳細はモニターの取扱説明書を参照してください。

4.1.2 停電後、カメラの映像が表示されなくなった

- エラーコード「E**-**」が表示される場合、4.3 映像に関する症状 [P. 41]を参照してください。
- カメラに対してストリーム配信を再要求してください。
  - モニターコンソールの場合、設定アイコン（）をUSBマウスでクリックして設定画面を表示し、「戻る」を選択してライブ画面に戻ります。
  - Webコンソールの場合、「ライブ画面」>「ストリームリフレッシュ」を選択し、「ストリームリフレッシュ」>「実行」をクリックします。
- カメラによっては電源を入れ直すと設定がリセットされます。カメラの設定が正しいことを確認してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。

4.1.3 突然再起動する

- 製品内部の温度が高温になった場合に再起動を繰り返すことがあります。この製品の周辺の温度を確認してください。また、狭い場所や通気性の悪い場所での使用や製品の上にものが置かれた状態での使用も内部温度が高温となる原因となります。

4.2 カメラ登録に関する症状

4.2.1 カメラを自動検出できない

- カメラを自動検出できるかは、カメラやネットワークに依存します。一覧に表示されないカメラは手動で登録してください（3.4 カメラを手動で登録する [P. 30]参照）。

4.2.2 自動検出で「適用」をクリックすると通信エラーが表示される

自動検出では、IPアドレス、ユーザー名、パスワードが設定されていないカメラも検出されます。登録するにはカメラを正しく設定する必要があります。

- カメラに接続できることを確認してください（4.5 Pingでカメラへの接続を確認する [P. 45]参照）。
- カメラにパスワードが設定されていることを確認してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。
- 入力したユーザーに管理者権限があることを確認してください。
- カメラごとに異なるユーザー名、パスワードが設定されている場合、エラーが表示された位置番号をチェックして編集（）をクリックし、ユーザー名とパスワードを再入力してください。

4.2.3 手動登録で「適用」をクリックすると通信エラーが表示される

- カメラに接続できることを確認してください（4.5 Pingでカメラへの接続を確認する [P. 45]参照）。
- カメラにパスワードが設定されていることを確認してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。
- 入力したユーザーに管理者権限があることを確認してください。
- 入力したカメラのIPアドレス、ポート（一般的には「80」、SSLが有効な場合は「443」）、ユーザー名、パスワードが正しいことを確認してください。
- カメラによってはONVIF接続を有効にする設定や、該当のポート、ユーザー、パスワードの設定があります。カメラ側でONVIFプロファイルに関する設定があるか確認してください。
- 当社が検証していないカメラの場合、この製品と互換性がない可能性があります。「DirectUri」プロトコルでカメラを登録することを検討してください。URIに入力するRTSPストリームURI（rtsp://から始まるURI）は、カメラの取扱説明書を参照するか、カメラメーカーに問い合わせてください。「DirectUri」プロトコルで接続した場合、映像は表示できますが、カメラのPTZ操作や設定変更はおこなえません。

4.3 映像に関する症状

4.3.1 エラー「E**-**」が表示される

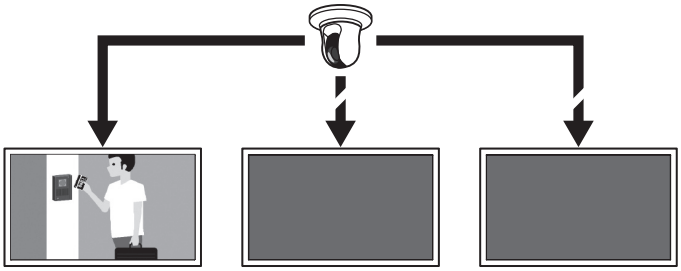
解決しない場合は正しい画像が表示されない [P. 43]を参照してください。

- E01-**
  - カメラのストリーム設定が正しいことを確認してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。
  - 高負荷によりカメラが正常動作していない可能性があります。カメラにアクセスしている他のネットワーク機器の接続を切るか、カメラの解像度やビットレートを下げてください。
  - 異なるサブネットにカメラが接続されている場合、サブネットをつなぐルーターでTCP・UDP通信が許可されていることを確認してください。
- E02-**

  E02-02
  - 認証に失敗しています。入力したカメラのユーザー名、パスワードが正しいことを確認してください。

  E02-03
  - ストリーム配信が停止しています。カメラの電源が切れた、あるいはカメラへの接続が切れたことが原因の場合、エラーはE02-04に変わります。
  - 異なるサブネットにカメラが接続されている場合、サブネットをつなぐルーターでTCP・UDP通信が許可されていることを確認してください。

  E02-04
  - カメラの電源が入っていることを確認してください。
  - カメラに接続できることを確認してください（4.5 Pingでカメラへの接続を確認する [P. 45]参照）。
  - 製品、カメラのIPアドレスが重複していないことを確認してください（4.6 IPアドレスの重複を確認する [P. 46]参照）。
    IPアドレスが重複している場合、カメラの映像は1台の製品にのみ送信されます。



IPアドレスが重複している製品

  E02-07
  - 「証明書の検証」が有効の場合、証明書の有効期限などが正しいことを確認してください。

E03-**

– ネットワーク帯域が圧迫しているか、この製品の表示性能を超えている可能性があります。カメラの解像度やビットレートを下げてください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。

E04-**

– 映像の解像度が、この製品で表示できない可能性があります。
カメラの解像度を変更してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。

E05-**

– カメラから配信されるストリームの形式が、この製品と異なっている可能性があります。カメラおよびこの製品の設定を確認後、この製品を再起動してください。

E06-**

– マルチキャストの設定値が正しく設定されていない可能性があります。カメラの設定を確認してください。

E07-**

– この製品にネットワークケーブルが接続されていないなど、ネットワークが接続されていない可能性があります。ネットワーク接続を確認してください。

E08-**

– カメラのプロトコルを使用するためのライセンスがありません。ライセンスを確認してください。

4.3.2 移動する物体の速度が遅くなったり、速くなったりする

解決しない場合は正しい画像が表示されない [P. 43]を参照してください。

- ストリームにBフレームが含まれている可能性があります。
  – 「ライブ画面」>「アドバンスド」を選択し、「Bフレームデコードバッファ」の「有効にする」をチェックしてください。症状が改善しない場合はチェックを外してください。
  – 「ライブ画面」>「アドバンスド」を選択し、「非参照フレームスキップ」の「有効にする」をチェックしてください。症状が改善しない場合はチェックを外してください。
- Bフレームが原因の場合、カメラ側でBフレームを無効にすることでも症状を改善できます。
- カメラからタイムスタンプに従ってフレームが出力されていない可能性があります。「ライブ画面」>「アドバンスド」を選択し、「タイムスタンプ同期」の「有効にする」をチェックしてください。症状が改善しない場合はチェックを外してください。

4.3.3 正しい画像が表示されない

画像が乱れている
画像がカクカクとした表示になる
黒い画像が表示される
時間によって画像が表示されたり、乱れたりする

- 「ライブ画面」>「アドバンスド」を選択し、「通信状態表示」を「オン」にしてください。画像の右上に通信状態を示す丸が表示されます。丸が緑色の場合、通信は正常です。



丸が黄色または赤色の場合、パケットを正常に受信できていません。カメラまたはネットワーク経路に問題が発生しています。

  - 高負荷によりカメラが正常動作していない可能性があります。カメラにアクセスしている他のネットワーク機器の接続を切るか、カメラの解像度やビットレートを下げてください。
  - ネットワーク経路にあるルーター、ハブ、ネットワークケーブルに問題がないことを確認してください。

丸が灰色の場合、ストリームがこの製品の表示性能を超えています。

  - カメラの解像度やビットレートを下げてください。

- 製品、カメラのIPアドレスが重複していないことを確認してください（4.6 IPアドレスの重複を確認する [P. 46]参照）。
- 入力したカメラのユーザーに管理者権限があることを確認してください。
- カメラのストリーム設定が正しいことを確認してください（2.2 カメラを設定する [P. 14]参照）。
- プロトコルが「ONVIF」、「AXIS」または「Panasonic/i-PRO」、かつ配信方式が「ユニキャスト」の場合、接続方式に「RTP over RTSP」を選択してください。ストリーム配信にTCPが使用されるため、パケット制御により症状が改善される可能性があります。
- 情報転送量に応じたハブとネットワークケーブルを使用していることを確認してください。配信方式がユニキャストの場合、（カメラのビットレート）×（接続数）が情報転送量になります。
- 「トラブルシュート」>「ネットワーク状態確認」を選択し、現在の通信帯域（送信、受信）を確認してください。

4.4 その他の症状

4.4.1 ログインできない

- ユーザー名とパスワードを再入力してください。
- リセットボタンでアカウント情報をリセットし、初回ユーザー登録をおこなってください（1.2 各部の名称と機能 [P. 9]参照）。

4.4.2 設定画面を表示できない

- ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーでログインする必要があります。
- 設定にはUSBマウスが必要です。リモコンでは設定できません。

4.4.3 設定した日付と時間が正しく表示されない

- 1週間以上電源に接続していないと、システムの日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、日時を設定し直してください（取扱説明書「システムの設定」-「日付と時刻を設定する」参照）。

4.4.4 ブラウザでWebコンソールを表示できない

- 製品のIPアドレスが重複していないことを確認してください（4.6 IPアドレスの重複を確認する [P. 46]参照）。
- コンピュータのIPアドレスが正しいことを確認してください（4.7 コンピュータのIPアドレスを確認する [P. 46]参照）。

4.4.5 ライセンスの登録に失敗する

- システムに正しい日時が設定されていることを確認してください（取扱説明書「システムの設定」-「日付と時刻を設定する」参照）。
- エラーコード、製品名、製造番号、製品のソフトウェアバージョン、エラーになったライセンスファイルをライセンスの販売店に送ってください。

4.4.6 USBマウス / USBキーボードが効かない

- USBケーブルを正しく接続してください。
- USBケーブルを接続し直してください。
- USBロック機能が有効になっていないことを確認してください（詳細は「取扱説明書」参照）。

4.4.7 カメラの表示位置が変更できない

- カメラ操作が可能なユーザーは「CAMERA CONTROL」または「ADMIN」です（詳細は「取扱説明書」参照）。
- シーケンス表示中はカメラの表示位置を変更できません（詳細は「取扱説明書」参照）。

4.4.8 音声が出ない

- ステレオミニジャックケーブルが正しく接続されていますか。
- 出力先の機器の音量が「0」になっていませんか。
- カメラの設定を確認してください。
  - 音声入力が正しく設定されていますか。
  - 音声配信が有効になっていますか。
  - この製品が対応している音声圧縮形式を選択していますか。

4.5 Pingでカメラへの接続を確認する

Pingを実行するには、次のいずれかの操作をおこないます。

- 「カメラ登録」の編集画面で「Ping」をクリックします。
- 「トラブルシュート」>「接続確認」を選択し、カメラを選択して「ping」の「実行」をクリックします。

カメラに接続できない場合、「Destination Host Unreachable」が表示されます。カメラの電源が入っていること、ネットワーク経路にあるルーター、ハブ、ネットワークケーブルに問題がないことを確認してください。

- 例）実行結果
  - カメラに接続できる場合

```
PING 192.168.0.27 (192.168.0.27) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 192.168.0.27: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.741 ms
64 bytes from 192.168.0.27: icmp_seq=2 ttl=64 time=0.771 ms
64 bytes from 192.168.0.27: icmp_seq=3 ttl=64 time=0.797 ms
```

  - カメラに接続できない場合

```
PING 192.168.0.27 (192.168.0.27) 56(84) bytes of data.
From 192.168.0.150 icmp_seq=1 Destination Host Unreachable
From 192.168.0.150 icmp_seq=2 Destination Host Unreachable
From 192.168.0.150 icmp_seq=3 Destination Host Unreachable
```

4.6 IPアドレスの重複を確認する

「トラブルシュート」>「ネットワーク状態確認」を選択し、「現在の状態」をクリックします。この製品のIPアドレスが他の機器と重複している場合、「Unicast reply from」が重複している台数分表示されます。重複しないIPアドレスを設定してください。

- 例）実行結果
  - IPアドレスが重複していない場合

```
ARPING 192.168.0.150 from 0.0.0.0 eth0
Sent 2 probes (2 broadcast(s))
Received 0 response(s)
```

  - IPアドレスが重複している場合

```
ARPING 192.168.0.150 from 0.0.0.0 eth0
Unicast reply from 192.168.0.150 [00:00:00:00:00:00]※1
Sent 2 probes (2 broadcast(s))
Received 0 response(s)
```

※1 重複している機器のMACアドレスが表示されます。

4.7 コンピュータのIPアドレスを確認する

Windowsコンピュータの場合、以下の手順でLANポートのネットワーク設定を確認、変更できます。

1. Windows + Rキーを押します。
2. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウでncpa.cplを入力し、「OK」をクリックします。
3. 一覧から「イーサネット」を選択し、ダブルクリックします。
   複数のLANポートが存在する場合、「イーサネット 2」や「イーサネット 3」が表示されます。
4. 「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
5. ネットワーク設定を変更し、「OK」をクリックします。

設定の詳細は、コンピュータメーカーに問い合わせてください。

付録

VCCI

この装置は、クラスＡ機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

アフターサービス

製品に関するお問い合わせ

製品の機能説明や操作方法に関するご相談を受け付けております。
お問い合わせの際は、事前に製品の取扱説明書やWebサイトのFAQ、互換性情報をご確認の上、下記Webサイトの問合せ窓口からご相談ください。
www.eizo.co.jp/support/product/inquiry/

修理に関するお問い合わせ

製品の修理に関するご相談を受け付けております。
修理をご希望の際は、下記Webサイトの修理申込みフォームからご依頼ください。
お申込みの混雑状況によっては、お時間をいただく場合がございますのでご了承ください。
www.eizo.co.jp/support/after/

廃棄について

この製品は、自治体の条例に従って廃棄してください。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
DuraVision® DX0131-IP	お買い上げの日より **2 年間**

記入欄

フリガナ お名前　　様	製造番号（S/N） 製造番号は、本体の底面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL　　（　　）	お買い上げ年月日　　年　　月　　日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

1. この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
   - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
   - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
   - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
   - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
   - 外装の劣化、変色
   - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
   - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
4. 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低5年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
5. 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
6. 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただくことがあります。
7. 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害について責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
9. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

EIZO®

www.eizo.co.jp

00N0N704B2
SUM-DX0131-IP

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved.

2nd Edition – September, 2026